

平城京休耕田草刈りレポ2025

越智 健介

5月8日、澄み切った青空のもと、平城京跡「東院庭園」南の休耕田(約5000㎡)で、6回目の草刈り作業に参加しました。早朝は10℃を下回る肌寒さでしたが、日中は20℃を超える暖かさに変わり、草刈りには最適な一日でした。4月に4年ぶりに再入会したばかりの私は、過去の経験をほとんど忘れていて、どこか新鮮な気持ちで臨みました。



朝8時前にベースキャンプに着くと、すでに軽トラック2台への機材

積み込みが始まっていました。以前は軽トラック1台に自走式草刈機1台だけだったのが、今回は自走式草刈機4台と刈払機を積む充実ぶり。機材の進化に驚きつつ、おそらく作業の効率が上がっているのだろーうと思いました。



昼前には終わりそうなスピードで草を刈れたのは、これらの機材の充実のおかげだと思います。

参加者は19名で、昨年とほぼ同じ人数。体力勝負かと少し身構えましたが、責任者の内河さんが事前にメールで人員と機材を割り振ってくれていたおかげで、作業はとてもスムーズに始まりました。ただ、私はメールの添付書類を見落としてしまい、周りの方に教えてもらうハプニングもありました。メール本文に一言注意

書きがあると助かるなと思いました。

それぞれの持ち場に分かれ、草刈りがスタート。休憩用のタープテントも設置され、昼食の弁当が楽しみでした。前々日の雨で草地の一部



がぬかるんでいて、自走式草刈機の動きが少し重かったものの、作業は順調に進みました。汗をかくこともなく、心地よい疲れの中で昼食タイムに。皆で囲んだ弁当は、いつも以上に美味しく感じました。

皆で囲んだ弁当は、いつも以上に美味しく感じました。



昼食前、会長から刈り残しの指摘があったので、食後は全員で丁寧に仕上げ作業を行い、溝の清掃もしました。思いの外早く作業を

終えられたのは、皆さんの機材操作の技術が上がっているからかもしれません。

私は自走式草刈機を担当しましたが、現場で機材の不調に気づきました。普段の清掃だけでなく、エンジンや部品のメンテナンスにもっと気を配らなければ、と反省しました。

作業を終え、機材を軽トラックに積んで平城京を



後にしました。こうしてきれいになった風景を眺めるのは嬉しいものです。

皆さん、お疲れさまでした！ またこれからもこうした活動を通じて平城京跡の美しさを守っていかれたらと思いました。